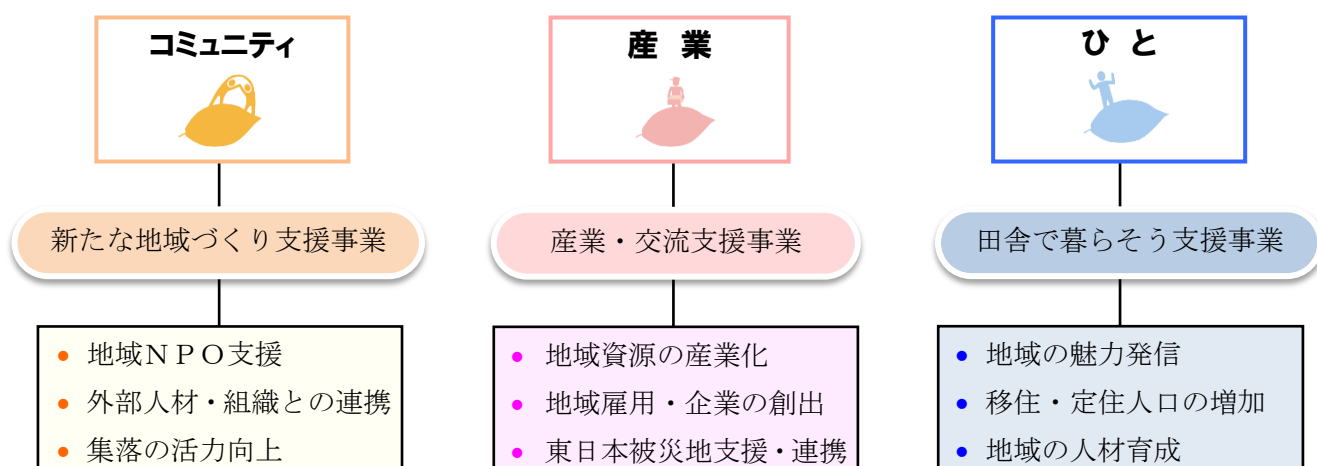


公益財団法人山の暮らし再生機構

平成27年度事業報告

「中山間地域再生への創造的な取組みを通じ、持続可能な中山間地域の形成を目指す」という基本理念及び長岡市復興推進地域づくり委員会の報告に基づき、地域ニーズに応じた「コミュニティ」、「ひと」、「産業」の三要素を育成するために、これまでの事業を再構築し、これから10年の新たな地域づくりのスタートと位置付け『新たな地域づくり支援事業』、『産業・交流支援事業』、『田舎で暮らそう支援事業』を主要事業として取り組んだ。



長岡市が国から認可を受けた地域再生計画に基づき、田舎暮らしの魅力地域外に発信し、移住・定住につなげるための支援事業の取組みを進めた。

中越大震災から学んだ復興経験を、東日本大震災被災地の復旧・復興に役立てられるよう、関係者と連携して支援活動に取り組んだ。また、長岡市と大槌町の民間交流を推進し、大槌町の復興の一助となることを目的に民間活動団体ベースでの交流事業を支援した。

1 新たな地域づくり支援事業（旧地域復興支援事業）

事業費

87,217,610円



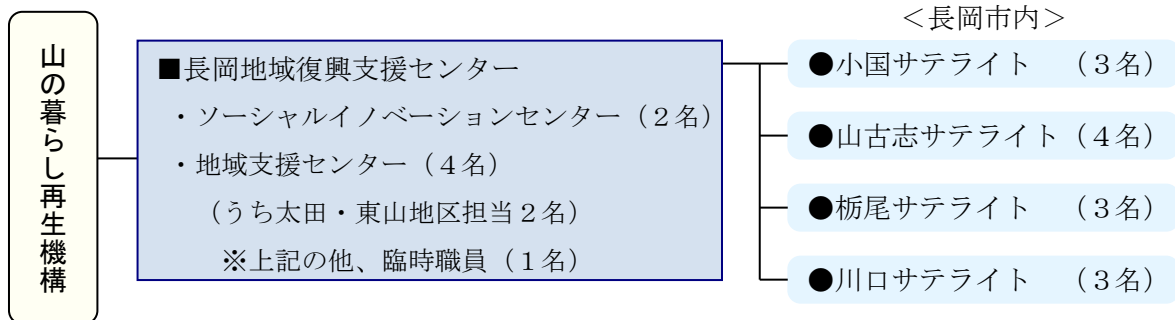
コミュニティづくり

～地域を支える地域づくり（経営）組織のサポート～

平成20年度から現在の（公財）新潟県中越大震災復興基金の事業として開始された「地域復興支援事業」は、当初、平成24年度までのメニューであったが、平成26年度まで2年間延長され、さらに3年間の制度延長が決定された。

当財団では、長岡市、十日町市、南魚沼市に復興支援センターを設置して地域復興支援員を配置し、地域活性化に向けた住民主体の活動を支援してきたが、平成25年4月から十日町市、平成27年4月から南魚沼市がそれぞれ独立したことから、平成27年度は長岡地域復興支援センターと山古志、小国、栃尾、川口地域のサテライトに19名の地域復興支援員を配置し、持続可能な中山間地域の形成に向けて活動した。

【地域復興支援員の配置状況 H28.3.31現在 19名】



長岡市復興推進地域づくり委員会の報告に基づき、今後の活動内容については、集落、地域住民支援に基礎を置きながらも、地域の活動を直接支援することから一歩抜け出し、これまでの復興プロセスで生まれてきた地域NPO等による地域の課題解決や地域の活性化の取組みを踏まえ、新たな地域づくりの事業開拓を行うことも必要となってきた。

そのため、長岡地域復興支援センターに地域住民や集落、地域NPO法人を支援する「地域支援センター」と、外部人材や外部組織との連携により地域課題解決や新たな技術、手法を検討する「ソーシャルイノベーションセンター」を設置し、2つのセンターが両輪となり、これからの10年に向けて次世代の中山間地域に相応しいライフスタイルの実践を目指した。

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
★ 中越地震発生			● LIMO設立	中越大震災復興基金事業期間(10年間)									
				復興支援事業 5年間					2年間延長		3年間延長		

長岡地域復興支援センター

- ◆長岡市復興推進地域づくり委員会の報告書に基づいた地域支援業務の実施
- ◆自立的復興に向けた支援（地域資源活用・連携支援、地域経営実践支援）
- ◆各サテライトで実施する活動の統括・連携支援（情報共有やMTGの開催）
- ◆専門家や他地域の地域づくり団体との連携構築（検討の場設定：地域アライアンス）

ソーシャル・イノベーションセンター

ソーシャルイノベーションセンターの設置初年度として、ソーシャルイノベーション検討委員会を設置し、中山間地域の課題解決に向けた議論を重ねながら取り組みを推進した。

1 地域資源を活用した中山間地域の移住定住促進支援

- ・「Japan IT Week 春」（東京ビッグサイト）に参加・情報収集（検討委員等 11 名参加）
- ・他団体主催の会議、イベントの支援

2 地域活性化啓発活動（中山間地域住民を巻き込んだイノベーションに関する先進事例研修など）

- ・岐阜県高山市の NPO 法人まちづくりスポット等の先進地視察（8 名参加）

3 外部人材活用や新たな技術・手法によるソーシャルイノベーションの中山間地域への導入検討

- ・ソーシャルイノベーション検討委員会の設置・開催（検討委員 6 名、3 回開催）
- ・ワールドカフェ方式の交流の場「山の暮らしサロン」の企画・実施（5 回開催、延 100 人参加）
- ・「コミュニティバス利用促進」や「道の駅の整備」に関する地域との共同調査研究の実施

4 地域アライアンス構築に向けた連携会議の開催（NPO 法人や支所など）

- ・地域アライアンス会議の開催（3 回開催）
- ・地域座談会の開催（4 地域で各 1 回の開催）

5 地域資源を活用した起業促進支援（新たな産業の創出に向けた先進地視察など）

- ・「Japan IT Week 春」（東京ビッグサイト）に参加【再掲】
- ・岐阜県高山市の NPO 法人まちづくりスポット等の先進地視察【再掲】
- ・スモールビジネス起こし事業の実施に向けた先進地視察（山形県鶴岡市）

6 地域と県内大学等（ボランティア等）のマッチング支援

- ・ながおか若者会議への参加（専門主任支援員ほか）
- ・長岡市の中山間地域での受け入れのための県外大学のニーズ調査（岐阜大学等の 5 大学）
- ・おぐに健康いきいき支援事業の関係者検討会議への参加（専門主任支援員）
- ・長岡市と周辺地域における自然環境活用事業の可能性調査（地域支援活動費充当事業）

7 地域内外との連携に向けた情報発信

- ・山の暮らしサロン Facebook ページの開設

地域支援センター	
1 統括支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・LIMO 職員及び地域復興支援員のキャリアアップなどの研修会等の実施 ・にいがたイナカレッジ実践研究と連携した地域資源活用の実践（農の担い手確保、森林資源・地エネルギー・空き家・ジビエの活用等）
2 広域連携支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊導入に向けた地域住民向け研修会の実施 ・「長岡まつり」、「うまさぎっしり新潟 食の大商談会」への出店支援 ・地域の生産者の首都圏マーケティング調査支援 ・神奈川大学との交流、「幻のメープルシロップを味わうツアー」の実施 ・地域住民が行う「地域の宝」活用に関する支援 ・被災地復興・交流支援事業（南三陸町、大槌町） ・移動販売車活用支援事業（小国・山古志）
3 情報受発信	<ul style="list-style-type: none"> ・LIMO通信の発行（年4回 各10,000部発行） ・LIMOホームページの運営

太田・東山地区（地域支援センター管轄）及び各サテライトの取組

- ◆新たな自治の仕組みづくり
- ◆新たな主体づくり
- ◆調査・研究／集落支援事業

※ 上記の具体的な実績は別冊の補足資料「平成27年度新たな地域づくり支援事業実績報告書」参照

新たな地域づくり支援事業の長岡地域復興支援センター及び各サテライトの事業費規模

区 分	事 業 費
長岡地域復興支援センター（太田・東山地区を含む）	39,188,924円
小国サテライト	10,739,774円
山古志サテライト	16,060,392円
栃尾サテライト	11,191,585円
川口サテライト	10,036,935円
新たな地域づくり支援事業費（全体）	87,217,610円

2 産業・交流支援事業

事業費

8,906,386円



産業づくり

～地域を豊かにする産業創出と地域連携～

中山間地域の魅力ある資源を都市農村交流や物販等の経済活動につなげるため、農作物・加工品の販路拡大支援及び交流人口の獲得支援を行った。

また、東日本大震災被災地の復興を支援するため、住民レベルの交流支援や経験と教訓を伝えるセミナーの開催等を行った。

<p>(1) 「地域の担い手」 確保支援事業</p>	<p>①地域づくり等に取り組む担い手の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊受入地域研修会の開催 (計2回、延参加者97名)
<p>(2) 地域資源活用促進 事業</p>	<p>①地域農産物を使用した加工品等の販売に取り組む地域団体に対し、販路拡大の機会創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うまさぎっしり新潟食の大商談会出展 ほか計4回 <p style="text-align: right;">11/27 都内物産店視察</p> 
<p>(3) 地域・集落自主交流プログラム支援 事業</p>	<p>①地域団体主体の都市農村交流事業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃校活用提案ツアー ほか1件 (延べ参加者49名) <p style="text-align: right;">3/5 梅ヶ原のろっくを味わうツアー</p> 
<p>(4) 被災地復興・交流 支援事業</p>	<p>①中越大震災被災地と東日本大震災被災地双方における、地域住民主体の持続的交流の働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛の角突き開催時の大槌町伝統芸能(虎舞)披露ほか 5回(延参加者109名) <p style="text-align: right;">8/3 南三陸町長岡まつり出店</p> 
<p>(5) 移動販売車活用事業</p>	<p>①生活サービスの質向上に向けた地域NPO等への活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小国・山古志地域をモデル地区として、地域内や中心市街地において移動販売車を活用し弁当等を販売 <p style="text-align: right;">山古志移動販売の様子</p> 



～地域を活性化する定住人口支援～

長岡市における定住人口を増加させるために、田舎暮らしの魅力を地域外に発信するセミナーや移住定住体験ツアーを実施した。ターゲットは田舎暮らしを希望する首都圏等在住者を対象とし、長岡への移住・定住につながるきっかけづくりを進めた。

(1) こいて長岡・お試し居住体験事業

①移住定住セミナーの実施

- ・移住者の暮らしを紹介するセミナーを開催
ながおか 暮らしのクラスほか計3回 (延参加者 32名)



7/4 ながおか 暮らしのクラス



8/28 ながおか 暮らしのダイニング

- ・長岡市への移住提案 PR 活動の実施
ふるさと回帰フェアほか計2回 (延相談者 39名)

②移住・定住体験ツアーの実施

- ・長岡の田舎暮らし魅力体験お試しツアーを開催
東京発着～小国地域 (10月 参加者 12名)



(2) 婚活パーティー支援事業

- ・やまこしネクストプロジェクト
おらたる中庭整備及びBBQ計3回 (参加者 54名)
- ・Girl's 田舎体験 in 小国 (ちょこっと婚活付きバスツアー)
小国和紙コサージュ作りなど (10月、参加者 29名)



8/28 第1回おらたるガーデン de 愛☆BBQ



10/3 Girl's 田舎体験 in 小国 (ちょこっと婚活付きバスツアー)

公益財団法人 山の暮らし再生機構

〒940-0062 長岡市大手通 1-4-11

電 話 : 0258-30-1213 F A X : 0258-30-1205